

注3

大学番号：私180

[平成30年度設置]

計画の区分：学部の設置

注1

届出

東海学園大学 心理学部

注2

【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人 東海学園

令和元年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 教務課

教務課長代理 カトウ タカサ 加藤 雅久

電話番号 052-801-1201

（夜間） 052-801-1383

F A X 052-804-1044

e-mail n-kyomu@tokaigakuen-u.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に

() 書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- 大学の設置の場合：「〇〇大学」
- 学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- 学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- 短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- 大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」
- 大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- 大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」
- 通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 大学番号の欄については、平成31年4月2日付事務連絡「履行状況報告書の提出について

(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

心理学部

＜心理学科＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	13
4. 既設大学等の状況	15
5. 教員組織の状況	16
6. 附帯事項等に対する履行状況等	33
7. その他全般的事項	34

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人 東海学園

(2) 大学名

東海学園大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒468-8514

愛知県名古屋市中平区中平二丁目901番地（愛知県みよし市福谷町西ノ洞21番地233）

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を（ ）書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(ソデヤマ エイシン) 袖山 榮眞 (平成26年2月)		
学長	(マツバラ タケヒサ) 松原 武久 (平成27年4月)		
学部長	(カワノ カズアキ) 河野 和明 (平成30年4月)		
学科長等			

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を（ ）書きで記入してください。

(例) 平成30年度に報告済の内容 → (30)

令和元年度に報告する内容 → (元)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載（昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正）するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
- ・ 様式は、平成27年度開設の4年制の学科の完成年度を超えて報告する場合(令和元年度までの5年間)ですが、完成年度を超えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が4年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。)
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
心理学部 心理学科 学士(心理学)	文学関係	4年	100人	3年次 2人	404人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前的人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「備考」にその旨記載してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		平均入学定員超過率	開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	100 () []	-	100 () []	-	() []	() []	() []	() []	() []	() []	1.24倍	一倍	
志願者数	925 () []	-	1258 () []	-	() []	() []	() []	() []	() []	() []			
受験者数	879 () []	-	1214 () []	-	() []	() []	() []	() []	() []	() []			
合格者数	397 () []	-	421 () []	-	() []	() []	() []	() []	() []	() []			
B 入学者数	124 () []	-	125 () []	-	() []	() []	() []	() []	() []	() []			
入学定員超過率 B/A	1.24		1.25										

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ ()内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお、計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。
- ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「-」を記入してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	124 [-] (-)	- [-] (-)	125 [-] (-)	- [-] (-)							
2年次	/		122 [-] (-)	- [-] (-)							
3年次	/		/								
4年次	/		/		/						
計	124 [-] (-)		247 [-] (-)								

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
平成30年度	124 人	0 人	平成30年度	0 人	0 人	
令和元年度	247 人	2 人	平成30年度	2 人	0 人	就職(1人)・病気療養(1人)
			令和元年度	0 人	0 人	
令和2年度	人	人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
令和3年度	人	人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
令和4年度	人	人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
			令和4年度	人	人	
合 計		2 人		人	人	

- (注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。
- ・各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
 - ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
 - ・在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
 - ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{124} = \boxed{0} \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{2}{247} = \boxed{0.8} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【令和4年度】

$$\frac{\text{令和4年度の退学者数(a)}}{\text{令和4年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

- (注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<心理学部 心理学科>

(1) ① 授業科目表

【認可時又は届出時】

【令和元年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
共生	共生人間論Ⅰ（フッダと法然）	1前	2								1
	共生人間論Ⅱ	3後	2								1
	共生人間論実習	2・3前・後	1								1
健康・スポーツ	健康と運動	1後	2								1
	スポーツ（バドミントン）	1・2・3前・後	1								1
	スポーツ（テニス）	1・2・3前・後	1								1
	スポーツ（バスケットボール）	1・2・3前・後	1								1
	スポーツ（バレーボール）	1・2・3前・後	1								1
	スポーツ（サッカー）	1・2・3前・後	1								1
	スポーツ（ソフトボール）	1・2・3前・後	1								1
	スポーツ（ゴルフ）	1・2・3前・後	1								1
	スポーツ（エアロビクス）	1・2・3前・後	1								1
スポーツ（アクアビクス）	1・2・3前・後	1								1	
キャリア	キャリアデザインⅠ	1前	2			1					
	キャリアデザインⅡ	1後	2			1					
外国語	総合英語Ⅰ	1前	1								1
	総合英語Ⅱ	1後	1								1
	総合英語Ⅲ	2後	1								1
	英会話Ⅰ	1前	1								1
	英会話Ⅱ	1後	1								1
	英会話Ⅲ	2前	1								1
	中国語Ⅰ	2前	1								1
	中国語Ⅱ	2後	1								1
	韓国語Ⅰ	2前	1								1
	韓国語Ⅱ	2後	1								1
	フランス語Ⅰ	2前	1								1
	フランス語Ⅱ	2後	1								1
	ポルトガル語Ⅰ	2前	1								1
	ポルトガル語Ⅱ	2後	1								1
	英語リーディング	3前	1			1					
英語ライティング	2前	1								1	
英語ディスカッション	3後	1								1	
日本語	日本語表現法A（音声）	1前・後	2								1
	日本語表現法B（文章）	1前・後	2								1
人文	日本の歴史	1前	2								1
	世界の歴史	1後	2								1
	異文化理解	2後	2								1
	哲学の基礎	1前	2			1					
	倫理学の基礎	3後	2			1					
	心のメカニズム	1後	2			1					
	日本の文学	1前	2								1
	外国の文学	2後	2			1					
社会	憲法と基本権	1前	2								1
	社会生活と法	2前	2								1
	暮らしと経済	1後	2								1
	市民社会と政治	3前	2								1
	国際事情	3前	2								1
	社会福祉学の基礎	1前	2								1
	現代社会と生活	1前	2								1
	地域社会と共生	2後	2			1					

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
共生	共生人間論Ⅰ（フッダと法然）	1前	2									1
	共生人間論Ⅱ	3後	2									1
	共生人間論実習	2・3前・後	1					1				
健康・スポーツ	健康と運動	1後	2									1
	スポーツ（バドミントン）	1・2・3前・後	1									2
	スポーツ（テニス）	1・2・3前・後	1									3
	スポーツ（バスケットボール）	1・2・3前・後	1									1
	スポーツ（バレーボール）	1・2・3前・後	1									1
	スポーツ（サッカー）	1・2・3前・後	1									1
	スポーツ（ソフトボール）	1・2・3前・後	1									1
	スポーツ（ゴルフ）	1・2・3前・後	1									1
	スポーツ（エアロビクス）	1・2・3前・後	1									1
スポーツ（アクアビクス）	1・2・3前・後	1									1	
キャリア	キャリアデザインⅠ	1前	2					1				
	キャリアデザインⅡ	1後	2					1				
外国語	総合英語Ⅰ	1前	1									4
	総合英語Ⅱ	1後	1									4
	総合英語Ⅲ	2後	1									2
	英会話Ⅰ	1前	1									6
	英会話Ⅱ	1後	1									6
	英会話Ⅲ	2前	1									4
	中国語Ⅰ	2前	1									1
	中国語Ⅱ	2後	1									1
	韓国語Ⅰ	2前	1									1
	韓国語Ⅱ	2後	1									1
	フランス語Ⅰ	2前	1									1
	フランス語Ⅱ	2後	1									1
	ポルトガル語Ⅰ	2前	1									1
	ポルトガル語Ⅱ	2後	1									1
	英語リーディング	3前	1					1				
英語ライティング	2後	1									1	
英語ディスカッション	3後	1									1	
日本語	日本語表現法A（音声）	1前・後	2									2
	日本語表現法B（文章）	1前・後	2									1
人文	日本の歴史	1前	2									1
	世界の歴史	1後	2									1
	異文化理解	2後	2									1
	哲学の基礎	1前	2					1				
	倫理学の基礎	3後	2					1				
	心のメカニズム	1前	2					1				
	日本の文学	1前	2									1
	外国の文学	2後	2					1				
社会	憲法と基本権	1前	2									1
	社会生活と法	2前	2									1
	暮らしと経済	1後	2									1
	市民社会と政治	3前	2									1
	国際事情	3前	2									1
	社会福祉学の基礎	1前	2									1
	現代社会と生活	1前	2									1
	地域社会と共生	2後	2									1

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
全学共通科目群	自然	生活と環境	1後	2								1
		自然と環境	1前	2								1
		生命の科学	1前	2								1
		生活と化学	1後	2								1
		数学入門	1後	2								1
	日本文化	日本文化論	1後	2								1
		日本の文化(書道)	1後	1								1
		日本の文化(華道)	1後	1								1
		日本の文化(舞踊)	1後	1								1
		日本の文化(陶芸)	1後	1								1
	情報	情報リテラシーA	1前	1								2
		情報リテラシーB	1後	1								2
	海外研修	海外異文化研修A	1後	2								1
海外異文化研修B		1後	4								1	
海外異文化研修C		1後	6								1	
小計(65科目)		-										
専門科目群	基礎科目	自然科学の基礎知識	1前	2		1						
		人文科学の基礎知識	1後	2		1						
		社会科学の基礎知識	2後	2		1						
		仕事の世界	2前	2		1						
		生涯学習概論	2後	2								1
	基幹科目	心理学概論	1前	2			1					
		心理学研究法・統計法	1後	2			1					
		心理学実験Ⅰ	2前	2			2				8	
		心理学実験Ⅱ	2後	2			2				8	
		実験心理学	2後	2			1					
		知覚・認知心理学Ⅰ	2前	2			1					
		知覚・認知心理学Ⅱ	2後	2			1					
		発達心理学	1後	2				1				
		教育心理学	2前	2				1				
		臨床心理学概論	1前	2				1				
		感情・人格心理学Ⅰ	1前	2				1				
		感情・人格心理学Ⅱ	2前	2			1					
		社会・集団・家族心理学	1前	2			1					
		対人認知論	1後	2			1					
		適応の心理学	3後	2			1					
		学習・言語心理学	3前	2							1	
		神経・生理心理学	3前	2							1	
		公認心理師の職責	4前	2			1					
		比較文化論	1後	2			1					
	心理統計法Ⅰ	1後	2			1						
	心理統計法Ⅱ	2前	2			1						
	心理統計法Ⅲ	2後	2				1					
心理学英文講読Ⅰ	1前	2			1							
心理学英文講読Ⅱ	1後	2			1							
展開応用科目	コミュニケーション心理学	1前	2								1	
	心理測定法	3後	2				1					
	動物心理学	4前	2			1						
	色彩心理学	4前	2			1						
	教育・学校心理学	2後	2			1						
	障害者(児)心理学	2前	2								1	
	生涯発達心理学	3前	2			1						
	児童心理学	3後	2				1					
	家族心理学	3前	2			1						
	産業・組織心理学	2前	2			1						
	環境心理学	3後	2								1	
	応用心理学	3後	2								1	
	文化心理学	4前	2			1						

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
全学共通科目群	自然	生活と環境	1後	2								1
		自然と環境	1後	2			1					
		生命の科学	1前	2								1
		生活と化学	1後	2								1
		数学入門	1後	2					1			
	日本文化	日本文化論	1後	2								1
		日本の文化(書道)	1後	1								1
		日本の文化(華道)	1後	1								1
		日本の文化(舞踊)	1後	1								1
		日本の文化(陶芸)	1後	1								1
	情報	情報リテラシーA	1前	1								3
		情報リテラシーB	1後	1								3
	海外研修	海外異文化研修A	1後	2								1
海外異文化研修B		1後	4								1	
海外異文化研修C		1後	6								1	
小計(65科目)		-										
専門科目群	基礎科目	自然科学の基礎知識	1前	2			1					
		人文科学の基礎知識	1後	2			1					
		社会科学の基礎知識	2後	2			1					
		仕事の世界	2前	2			1					
		生涯学習概論	2後	2								1
	基幹科目	心理学概論	1前	2			1					
		心理学研究法	1後	2			1					
		心理学実験Ⅰ	2前	2			2			1		8
		心理学実験Ⅱ	2後	2			2			1		8
		実験心理学	2後	2			1					
		知覚・認知心理学Ⅰ	2前	2			1					
		知覚・認知心理学Ⅱ	2後	2			1					
		発達心理学	1後	2				1				
		教育心理学	2前	2				1				
		臨床心理学概論	1前	2					1			
		感情・人格心理学Ⅰ	1前	2								1
		感情・人格心理学Ⅱ	2前	2			1					
		社会・集団・家族心理学	1前	2			1					
		対人認知論	1後	2			1					
		適応の心理学	3後	2			1					
		学習・言語心理学	3前	2								1
		神経・生理心理学	3前	2								1
		公認心理師の職責	4前	2			1					
		比較文化論	1後	2			1					
	心理統計法Ⅰ	1後	2			1						
	心理統計法Ⅱ	2前	2			1						
	心理統計法Ⅲ	2後	2								1	
心理学英文講読Ⅰ	1前	2			1							
心理学英文講読Ⅱ	1後	2			1							
展開応用科目	コミュニケーション心理学	1前	2								1	
	心理測定法	3後	2								1	
	動物心理学	4前	2			1						
	色彩心理学	4前	2			1						
	教育・学校心理学	2後	2			1						
	障害者・障害児心理学	2前	2								1	
	生涯発達心理学	3前	2			1						
	児童心理学	3後	2								1	
	家族心理学	3前	2			1						
	産業・組織心理学	2前	2			1						
	環境心理学	3後	2								1	
	応用心理学	3後	2								1	
	文化心理学	4前	2			1						

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
専門科目群	展開応用科目	心理的アセスメント	2後	2			1						
		精神疾患とその治療	3後	2				1					
		健康・医療心理学	3前	2				1					
		福祉心理学	2後	2			1						
		心理学的支援法	3前	2			1						
		司法・犯罪心理学	3前	2								1	
		調査法 I	2前	2			1						
		調査法 II	2後	2			2	1					
		行動観察法	3後	2								1	
		面接法	3前	2				1				1	
		社会調査論	1後	2			1						
		調査演習 I	3前	2			1						
		調査演習 II	3後	2			1						
		ことばと認知	3前	2			1						
		論理と認知	4後	2			1						
		人体の構造と機能及び疾病	3前	2									1
		関係行政論	3後	2									1
心理演習	4前	2			6	2							
心理実習	4後	2			6	2							
小計(61科目)		-											
演習科目群	演習科目	基礎演習 I	1前	2			9	2		1			
		基礎演習 II	1後	2			9	2		1			
		基礎演習 III	2前	2			9	2		1			
		基礎演習 IV	2後	2			9	2		1			
		総合演習 I	3前	2			9	2		1			
		総合演習 II	3後	2			9	2		1			
		総合演習 III	4前	2			9	2		1			
		総合演習 IV	4後	2			9	2		1			
小計(8科目)		-											
合計(134科目)		-											
卒業要件及び履修方法													
全学共通科目群から25単位（必修科目・選択必修科目14単位を含む）以上、専門科目群62単位（必修科目・選択必修科目22単位を含む）以上、演習科目群から必修科目16単位を修得し、124単位以上修得すること。 （履修科目の登録の上限：49単位（年間））													

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
専門科目群	展開応用科目	心理的アセスメント	2後	2			1						
		精神疾患とその治療	3後	2						1			
		健康・医療心理学	3前	2						1			
		福祉心理学	2後	2			1						
		心理学的支援法	3前	2			1						
		司法・犯罪心理学	3前	2									1
		調査法 I	2前	2			1						
		調査法 II	2後	2						1		2	
		行動観察法	3後	2									1
		面接法	3前	2						1		1	
		社会調査論	1後	2			1						
		調査演習 I	3前	2			1						
		調査演習 II	3後	2			1						
		ことばと認知	3前	2			1						
		論理と認知	4後	2			1						
		人体の構造と機能及び疾病	3前	2									1
		関係行政論	3後	2									1
心理演習	4前	2			6	2			1	1			
心理実習	4後	2			6	2			1	1			
小計(61科目)		-											
演習科目群	演習科目	基礎演習 I	1前	2			9	2		1		2	
		基礎演習 II	1後	2			9	2		1		2	
		基礎演習 III	2前	2			9	2		1		2	
		基礎演習 IV	2後	2			9	2		1		2	
		総合演習 I	3前	2			9	2		1		2	
		総合演習 II	3後	2			9	2		1		2	
		総合演習 III	4前	2			9	2		1		2	
		総合演習 IV	4後	2			9	2		1		2	
小計(8科目)		-											
合計(134科目)		-											
卒業要件及び履修方法													
全学共通科目群から25単位（必修科目14単位を含む）以上、専門科目群62単位（必修科目・選択必修科目22単位を含む）以上、演習科目群から必修科目16単位を修得し、124単位以上修得すること。 （履修科目の登録の上限：49単位（年間））													

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
全学共通科目群	共生	共生人間論Ⅰ（フダと法然）	1前	2								1	
		共生人間論Ⅱ	3後	2								1	
		共生人間論実習	2・3前・後		1								1
	健康・スポーツ	健康と運動	1後		2								1
		スポーツ（バドミントン）	1・2・3前・後		1								2
		スポーツ（テニス）	1・2・3前・後		1								3
		スポーツ（バスケットボール）	1・2・3前・後		1								1
		スポーツ（バレーボール）	1・2・3前・後		1								1
		スポーツ（サッカー）	1・2・3前・後		1								1
		スポーツ（ソフトボール）	1・2・3前・後		1								1
		スポーツ（ゴルフ）	1・2・3前・後		1								1
		スポーツ（エアロビクス）	1・2・3前・後		1								1
	スポーツ（アクアビクス）	1・2・3前・後		1								1	
	キャリア	キャリアデザインⅠ	1前	2			1						
		キャリアデザインⅡ	1後	2			1						
	外国語	総合英語Ⅰ	1前	1									3
		総合英語Ⅱ	1後	1									3
		総合英語Ⅲ	2後		1								1
		英会話Ⅰ	1前	1									6
		英会話Ⅱ	1後	1									6
		英会話Ⅲ	2前		1								1
		中国語Ⅰ	2前		1								1
		中国語Ⅱ	2後		1								1
		韓国語Ⅰ	2前		1								1
		韓国語Ⅱ	2後		1								1
		フランス語Ⅰ	2前		1								1
		フランス語Ⅱ	2後		1								1
ポルトガル語Ⅰ		2前		1								1	
ポルトガル語Ⅱ		2後		1								1	
英語リーディング	3前		1		1								
英語ライティング	2前		1								1		
英語ディスカッション	3後		1								1		
日本語	日本語表現法A（音声）	1前・後		2								1	
	日本語表現法B（文章）	1前・後		2								1	
人文	日本の歴史	1前		2								1	
	世界の歴史	1後		2								1	
	異文化理解	2後		2								1	
	哲学の基礎	1前		2		1							
	倫理学の基礎	3後		2		1							
	心のメカニズム	1後		2		1							
	日本の文学	1前		2								1	
	外国の文学	2後		2		1							
社会	憲法と基本権	1前		2								1	
	社会生活と法	2前		2								1	
	暮らしと経済	1後		2								1	
	市民社会と政治	3前		2								1	
	国際事情	3前		2								1	
	社会福祉学の基礎	1前		2								1	
	現代社会と生活	1前		2								1	
	地域社会と共生	2後		2		1							
自然	生活と環境	1後		2								1	
	自然と環境	1前		2								1	
	生命の科学	1前		2								1	
	生活と化学	1後		2								1	
	数学入門	1後		2			1						

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
全学共通科目群	日本文化論	1後		2								1
	日本の文化(書道)	1後		1								1
	日本の文化(華道)	1後		1								1
	日本の文化(舞踊)	1後		1								1
	日本の文化(陶芸)	1後		1								1
	情報リテラシーA	1前		1								3
	情報リテラシーB	1後		1								3
	海外異文化研修A	1後		2								1
	海外異文化研修B	1後		4								1
	海外異文化研修C	1後		6								1
小計(65科目)	-											
専門科目群	自然科学の基礎知識	1前		2		1						
	人文科学の基礎知識	1後		2		1						
	社会科学の基礎知識	2後		2		1						
	仕事の世界	2前		2		1						
	生涯学習概論	2後		2								1
	心理学概論	1前	2			1						
	心理学研究法	1後	2			1						
	心理学実験I	2前	2			2						8
	心理学実験II	2後	2			2						8
	実験心理学	2後	2			1						
	知覚・認知心理学I	2前	2			1						
	知覚・認知心理学II	2後	2			1						
	発達心理学	1後	2						1			
	教育心理学	2前	2						1			
	臨床心理学概論	1前	2				1					
	感情・人格心理学I	1前	2						1			
	感情・人格心理学II	2前	2			1						
	社会・集団・家族心理学	1前	2			1						
	対人認知論	1後	2			1						
	適応の心理学	3後	2			1						
	学習・言語心理学	3前	2									1
	神経・生理心理学	3前	2									1
	公認心理師の職責	4前	2			1						
	比較文化論	1後	2			1						
	心理学統計法I	1後	2			1						
	心理学統計法II	2前	2			1						
	心理学統計法III	2後	2						1			
	心理学英文講読I	1前	2			1						
	心理学英文講読II	1後	2			1						
	コミュニケーション心理学	1前	2									1
	心理測定法	3後	2						1			
	動物心理学	4前	2			1						
	色彩心理学	4前	2			1						
	教育・学校心理学	2後	2			1						
	障害者・障害児心理学	2前	2									1
	生涯発達心理学	3前	2			1						
児童心理学	3後	2						1				
家族心理学	3前	2			1							
産業・組織心理学	2前	2			1							
環境心理学	3後	2									1	
応用心理学	3後	2									1	
文化心理学	4前	2			1							
心理的アセスメント	2後	2			1							
精神疾患とその治療	3後	2				1						
健康・医療心理学	3前	2				1						
福祉心理学	2後	2			1							

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教		助手
専門科目群	展開応用科目	心理学的支援法	3前	2		1					
		司法・犯罪心理学	3前	2							1
		調査法Ⅰ	2前	2		1					
		調査法Ⅱ	2後	2		2			1		
		行動観察法	3後	2							1
		面接法	3前	2			1				1
		社会調査論	1後	2		1					
		調査演習Ⅰ	3前	2		1					
		調査演習Ⅱ	3後	2		1					
		ことばと認知	3前	2		1					
		論理と認知	4後	2		1					
		人体の構造と機能及び疾病	3前	2							1
		関係行政論	3後	2							1
		心理演習	4前	2			6	1		1	
心理実習	4後	2			6	1		1			
小計(61科目)		-									
演習科目群	演習科目	基礎演習Ⅰ	1前	2		9	1		2		
		基礎演習Ⅱ	1後	2		9	1		2		
		基礎演習Ⅲ	2前	2		9	1		2		
		基礎演習Ⅳ	2後	2		9	1		2		
		総合演習Ⅰ	3前	2		9	1		2		
		総合演習Ⅱ	3後	2		9	1		2		
		総合演習Ⅲ	4前	2		9	1		2		
		総合演習Ⅳ	4後	2		9	1		2		
小計(8科目)		-									
合計(134科目)		-									
卒業要件及び履修方法											
全学共通科目群から25単位(必修科目・選択必修科目14単位を含む)以上、専門科目群62単位(必修科目・選択必修科目22単位を含む)以上、演習科目群から必修科目16単位を修得し、124単位以上修得すること。 (履修科目の登録の上限: 49単位(年間))											

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 本授業科目表は、開設年度から提出年度までの間において実際に実施された授業科目に関する情報として記入してください。
 - ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は**赤字**としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除してください。
(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)

(1) 一②授業科目表に関する変更内容

【平成30年度】

- ・公認心理師のカリキュラムに対応するため、以下のように授業科目の名称を変更。
「心理学研究法・統計法」→「心理学研究法」、「心理統計法Ⅰ」→「心理学統計法Ⅰ」、「心理統計法Ⅱ」→「心理学統計法Ⅱ」、「心理統計法Ⅲ」→「心理学統計法Ⅲ」、「障害者(児)心理学」→「障害者・障害児心理学」
- ・谷伊織准教授就任辞退のため、高田琢弘助教が谷准教授の授業科目を担当する。それに伴い、「発達心理学」「教育心理学」「感情・人格心理学Ⅰ」「心理学統計法Ⅲ」「心理測定法」「児童心理学」「調査法Ⅱ」「心理演習」「心理実習」「基礎演習Ⅰ」「基礎演習Ⅱ」「基礎演習Ⅲ」「基礎演習Ⅳ」「総合演習Ⅰ」「総合演習Ⅱ」「総合演習Ⅲ」「総合演習Ⅳ」の専任教員等の配置を「准教授1減」「助教1増」に変更。
- ・兼任講師就任辞退のため、「数学入門」の教員の配置を「兼任・兼任1」から「教授1」に変更。
- ・コマ数再考のため、「スポーツ(バドミントン)」の教員の配置を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任2」に変更。
- ・コマ数再考のため、「スポーツ(テニス)」の教員の配置を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任3」に変更。
- ・コマ数再考のため、「総合英語Ⅰ」「総合英語Ⅱ」の教員の配置を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任3」に変更。
- ・コマ数再考のため、「英会話Ⅰ」「英会話Ⅱ」の教員の配置を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任6」に変更。
- ・コマ数再考のため、「情報リテラシーA」「情報リテラシーB」の教員の配置を「兼任・兼任2」から「兼任・兼任3」に変更。

【令和元年度】

- ・全学共通科目群の担当教員見直しにより、「共生人間論実習」の担当教員を「兼任・兼任1」から「教授1」に変更。
- ・全学共通科目群の担当教員見直しにより、「地域社会と共生」の担当教員を「教授1」から「兼任・兼任1」に変更。
- ・兼任講師辞任により、「自然と環境」の担当教員を「兼任・兼任1」から「教授1」に変更し、開講学期を「1前」から「1後」に変更。
- ・専門科目群の担当教員見直しにより、「心理学実験Ⅰ」「心理学実験Ⅱ」の担当教員を「教授2」「兼任・兼任8」から「教授1」「助教1」「兼任・兼任8」に変更。
- ・専門科目群の担当教員見直しにより、「知覚・認知心理学Ⅱ」の担当教員を「教授1」から「助教1」に変更。
- ・専門科目群の担当教員見直しにより、「調査法Ⅱ」の担当教員を「教授2」「助教1」から「教授1」「助教2」に変更。
- ・教育効果を考慮し、「総合英語Ⅲ」「英会話Ⅲ」を「選択科目」から「必修科目」に変更し、開講学期を「2後」から「2前・後」に変更。
- ・教育効果を考慮し、「英語ライティング」の開講学期を「2前」から「2後」に変更。
- ・教育効果を考慮し、「心のメカニズム」の開講学期を「1後」から「1前」に変更。
- ・コマ数再考のため、「総合英語Ⅰ」「総合英語Ⅱ」の教員配置を「兼任・兼任3」から「兼任・兼任4」に変更。
- ・コマ数再考のため、「総合英語Ⅲ」の教員配置を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任2」に変更。
- ・コマ数再考のため、「英会話Ⅲ」の教員配置を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任4」に変更。
- ・コマ数再考のため、「日本語表現法A(音声)」の教員配置を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任2」に変更。

- (注) ・ 2(1)一① 授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
24 科目	110 科目	0 科目	134 科目	26 科目 [2]	108 科目 [Δ2]	0 科目 [0]	134 科目 [0]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例: 1科目減の場合: Δ1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
	該当なし					

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
	該当なし					

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能なかぎり具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{134} = \boxed{}\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考			
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	購入のため(元)			
	校舎敷地	34,690.00㎡	0㎡	0㎡	34,690.00㎡				
	運動場用地	69,311.00㎡	0㎡	0㎡	69,311.00㎡				
	小 計	104,001.00㎡	0㎡	0㎡	104,001.00㎡				
	そ の 他	117,905.00㎡ 116,376.00㎡	0㎡	0㎡	117,905.00㎡ 116,376.00㎡				
	合 計	221,906.00㎡ 220,377.00㎡	0㎡	0㎡	221,906.00㎡ 220,377.00㎡				
(2) 校 舎	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計					
	44,981.00㎡ (44,981.00㎡)	0㎡ (0 ㎡)	0㎡ (0 ㎡)	44,981.00㎡ (44,981.00㎡)					
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体			
	51室	37室	20室	13室 (補助職員 5人)	0室 (補助職員 0人)				
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称		室 数						
	心理学部心理学科		12 室						
(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図 書 〔うち外国書〕	学術雑誌 〔うち外国書〕	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料	機械・器具	標 本	「機械・器具」「標本」は大学全体を含む 購入のため(元) 学術雑誌の減は終刊のため(元) 購入のため(30)	
		冊	種	〔うち外国書〕	点	点	点		
	心理学部心理学科	8,300〔1,000〕 (7,576〔683〕) (7,092〔522〕)	25〔8〕 (22〔6〕) (24〔6〕) (22〔6〕)	600〔500〕 (668〔568〕) (507〔465〕) (493〔451〕)	500 (345) (339) (306)	3,755 (4,089) (3,944) (3,755)	45 (45)		
	計	8,300〔1,000〕 (7,576〔683〕) (7,092〔522〕)	25〔8〕 (22〔6〕) (24〔6〕) (22〔6〕)	600〔500〕 (668〔568〕) (507〔465〕) (493〔451〕)	500 (345) (339) (306)	3,755 (4,089) (3,944) (3,755)	45 (45)		
(6) 図 書 館	面 積		閲覧座席数	収 納 可 能 冊 数		大学全体 閲覧席増設のため(元)			
	5,503.99㎡		572席 553席	501,302冊					
(7) 体 育 館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要						
	5,428.20㎡		室内プール・トレーニングジム・ダンス室						
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	届出学部全体 図書購入費については 経常経費の中で措置
		教員1人当り研究費等	250千円	250千円	図書購入費	0千円	0千円	0千円	
	共同研究費等	0千円	0千円	設備購入費	0千円	0千円	0千円		
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
		1,350千円	1,190千円	1,190千円	1,190千円	—千円	—千円		
学生納付金以外の維持方法の概要			完成時までの運営費は手数料収入・法人全体収入を充当する。						

(注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)

- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
- ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和元年5月1日現在の数値を記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(元)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。

- ・ 校舎等建物の計画の変更（校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延）がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、黒字で記入してください。
- ・ 国立大学については「（８）経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4. 既設大学等の状況

大学の名称	東海学園大学									備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	定員変更年度 (AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
	年	人	年次 人	人		倍	年度	年度	年度	
経営学部 経営学科	4	230	3年次 5	930	学士 (経営学)	1.23		平成7年度	愛知県みよし市福谷町西ノ洞21番地233	
人文学部 人文学科	4	100	3年次 3	406	学士 (人文学)	1.26		平成12年度	愛知県名古屋市天白区中平二丁目901番地	
心理学部 心理学科	4	—	—	—	学士 (心理学)	—		平成26年度	同上	平成30年より学生募集停止
心理学部 心理学科	4	100	3年次 2	404	学士 (心理学)	1.24		平成30年度	愛知県名古屋市天白区中平二丁目901番地	
教育学部 教育学科	4	180	3年次 5	670	学士 (教育学)	1.15		平成24年度	愛知県名古屋市天白区中平二丁目901番地	平成30年より入学定員を150人から180人に変更
スポーツ健康科学部 スポーツ健康科学科	4	260	3年次 5	1000	学士 (スポーツ健康科学)	1.16		平成24年度	愛知県みよし市福谷町西ノ洞21番地233	平成30年より入学定員を235人から260人に変更
健康栄養学部 管理栄養学科	4	120	—	480	学士 (栄養学)	1.00		平成23年度	愛知県名古屋市天白区中平二丁目901番地	
経営学研究科 経営学専攻	2	20	—	40	修士 (経営学)	0.33		平成12年度	愛知県みよし市福谷町西ノ洞21番地233	

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学(大学院含む)、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校種ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。
(専攻科及び別科を除く)。
- ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
 - ・「平均入学定員超過率」の考え方は「大学設置等に係る提出書類の作成の手引き(平成31年度改訂版)」と同じです。
 - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

5 教員組織の状況

<心理学部 心理学科>

(1) ① 担当教員表

【認可時又は届出時】

【平成30年度】

【令和元年度】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	河野 和明 (53) <平成30年4月> 博士(心理学)
		心理学研究法・統計法 心理学実験Ⅰ 心理学実験Ⅱ 感情・人格心理学Ⅱ 適応の心理学 動物心理学 調査法Ⅱ 心理演習 心理実習 基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ 基礎演習Ⅲ 基礎演習Ⅳ 総合演習Ⅰ 総合演習Ⅱ 総合演習Ⅲ 総合演習Ⅳ
専	教授	青山 広 (65) <平成30年4月> Ph. D in Philosophy (米国)
		地域社会と共生 自然科学の基礎知識 人文科学の基礎知識 ことばと認知 論理と認知 基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ 基礎演習Ⅲ 基礎演習Ⅳ 総合演習Ⅰ 総合演習Ⅱ 総合演習Ⅲ 総合演習Ⅳ
専	教授	伊藤 君男 (50) <平成30年4月> 博士(文学)
		キャリアデザインⅠ キャリアデザインⅡ 心理学実験Ⅰ 心理学実験Ⅱ 対人認知論 心理統計法Ⅱ 文化心理学 調査演習Ⅰ 調査演習Ⅱ 心理演習 心理実習 基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ 基礎演習Ⅲ 基礎演習Ⅳ 総合演習Ⅰ 総合演習Ⅱ 総合演習Ⅲ 総合演習Ⅳ

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	河野 和明 (53) <平成30年4月> 博士(心理学)
		心理学研究法 心理学実験Ⅰ 心理学実験Ⅱ 感情・人格心理学Ⅱ 適応の心理学 動物心理学 調査法Ⅱ 心理演習 心理実習 基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ 基礎演習Ⅲ 基礎演習Ⅳ 総合演習Ⅰ 総合演習Ⅱ 総合演習Ⅲ 総合演習Ⅳ
専	教授	青山 広 (65) <平成30年4月> Ph. D in Philosophy (米国)
		数学入門 地域社会と共生 自然科学の基礎知識 人文科学の基礎知識 ことばと認知 論理と認知 基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ 基礎演習Ⅲ 基礎演習Ⅳ 総合演習Ⅰ 総合演習Ⅱ 総合演習Ⅲ 総合演習Ⅳ
専	教授	伊藤 君男 (50) <平成30年4月> 博士(文学)
		キャリアデザインⅠ キャリアデザインⅡ 心理学実験Ⅰ 心理学実験Ⅱ 対人認知論 心理統計法Ⅰ 文化心理学 調査演習Ⅰ 調査演習Ⅱ 心理演習 心理実習 基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ 基礎演習Ⅲ 基礎演習Ⅳ 総合演習Ⅰ 総合演習Ⅱ 総合演習Ⅲ 総合演習Ⅳ

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	河野 和明 (54) <平成30年4月> 博士(心理学)
		心理学研究法 感情・人格心理学Ⅱ 適応の心理学 動物心理学 心理演習 心理実習 基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ 基礎演習Ⅲ 基礎演習Ⅳ 総合演習Ⅰ 総合演習Ⅱ 総合演習Ⅲ 総合演習Ⅳ
専	教授	青山 広 (66) <平成30年4月> Ph. D in Philosophy (米国)
		自然と環境 数学入門 自然科学の基礎知識 人文科学の基礎知識 ことばと認知 論理と認知 基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ 基礎演習Ⅲ 基礎演習Ⅳ 総合演習Ⅰ 総合演習Ⅱ 総合演習Ⅲ 総合演習Ⅳ
専	教授	伊藤 君男 (51) <平成30年4月> 博士(文学)
		キャリアデザインⅠ キャリアデザインⅡ 心理学実験Ⅰ 心理学実験Ⅱ 対人認知論 心理統計法Ⅰ 文化心理学 調査演習Ⅰ 調査演習Ⅱ 心理演習 心理実習 基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ 基礎演習Ⅲ 基礎演習Ⅳ 総合演習Ⅰ 総合演習Ⅱ 総合演習Ⅲ 総合演習Ⅳ

【認可時又は届出時】

専任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専 教授		奥田 達也 (62) (平成30年4月) 文学修士※
		心のメカニズム 社会・集団・家族心理学 心理統計法Ⅰ 産業・組織心理学 調査法Ⅰ 社会調査論 心理演習 心理実習 基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ 基礎演習Ⅲ 基礎演習Ⅳ 総合演習Ⅰ 総合演習Ⅱ 総合演習Ⅲ 総合演習Ⅳ
専 教授		片桐 茂博 (62) (平成30年4月) 文学修士
		哲学の基礎 倫理学の基礎 社会科学の基礎知識 仕事の世界 基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ 基礎演習Ⅲ 基礎演習Ⅳ 総合演習Ⅰ 総合演習Ⅱ 総合演習Ⅲ 総合演習Ⅳ
専 教授		高橋 晋也 (53) (平成30年4月) 博士(心理学)
		心理学概論 実験心理学 知覚・認知心理学Ⅰ 知覚・認知心理学Ⅱ 色彩心理学 調査法Ⅱ 心理演習 心理実習 基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ 基礎演習Ⅲ 基礎演習Ⅳ 総合演習Ⅰ 総合演習Ⅱ 総合演習Ⅲ 総合演習Ⅳ
専 教授		三宅(音谷) 理子 (46) (平成30年4月) 修士(教育学)※
		公認心理師の職責 教育・学校心理学 家族心理学 心理的アセスメント 心理学的支援法 心理演習 心理実習 基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ 基礎演習Ⅲ 基礎演習Ⅳ 総合演習Ⅰ 総合演習Ⅱ 総合演習Ⅲ 総合演習Ⅳ
専 教授		宮本 益治 (65) (平成30年4月) 文学修士※
		生涯発達心理学 福祉心理学 心理演習 心理実習 基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ 基礎演習Ⅲ 基礎演習Ⅳ 総合演習Ⅰ 総合演習Ⅱ 総合演習Ⅲ 総合演習Ⅳ

【平成30年度】

専任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専 教授		奥田 達也 (62) (平成30年4月) 文学修士※
		心のメカニズム 社会・集団・家族心理学 心理学統計法Ⅰ 産業・組織心理学 調査法Ⅰ 社会調査論 心理演習 心理実習 基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ 基礎演習Ⅲ 基礎演習Ⅳ 総合演習Ⅰ 総合演習Ⅱ 総合演習Ⅲ 総合演習Ⅳ
専 教授		片桐 茂博 (62) (平成30年4月) 文学修士
		哲学の基礎 倫理学の基礎 社会科学の基礎知識 仕事の世界 基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ 基礎演習Ⅲ 基礎演習Ⅳ 総合演習Ⅰ 総合演習Ⅱ 総合演習Ⅲ 総合演習Ⅳ
専 教授		高橋 晋也 (53) (平成30年4月) 博士(心理学)
		心理学概論 実験心理学 知覚・認知心理学Ⅰ 知覚・認知心理学Ⅱ 色彩心理学 調査法Ⅱ 心理演習 心理実習 基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ 基礎演習Ⅲ 基礎演習Ⅳ 総合演習Ⅰ 総合演習Ⅱ 総合演習Ⅲ 総合演習Ⅳ
専 教授		三宅(音谷) 理子 (46) (平成30年4月) 修士(教育学)※
		公認心理師の職責 教育・学校心理学 家族心理学 心理的アセスメント 心理学的支援法 心理演習 心理実習 基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ 基礎演習Ⅲ 基礎演習Ⅳ 総合演習Ⅰ 総合演習Ⅱ 総合演習Ⅲ 総合演習Ⅳ
専 教授		宮本 益治 (65) (平成30年4月) 文学修士※
		生涯発達心理学 福祉心理学 心理演習 心理実習 基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ 基礎演習Ⅲ 基礎演習Ⅳ 総合演習Ⅰ 総合演習Ⅱ 総合演習Ⅲ 総合演習Ⅳ

【令和元年度】

専任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専 教授		奥田 達也 (63) (平成30年4月) 文学修士※
		心のメカニズム 社会・集団・家族心理学 心理学統計法Ⅰ 産業・組織心理学 調査法Ⅰ 社会調査論 心理演習 心理実習 基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ 基礎演習Ⅲ 基礎演習Ⅳ 総合演習Ⅰ 総合演習Ⅱ 総合演習Ⅲ 総合演習Ⅳ
専 教授		片桐 茂博 (63) (平成30年4月) 文学修士
		哲学の基礎 倫理学の基礎 社会科学の基礎知識 仕事の世界 基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ 基礎演習Ⅲ 基礎演習Ⅳ 総合演習Ⅰ 総合演習Ⅱ 総合演習Ⅲ 総合演習Ⅳ
専 教授		高橋 晋也 (54) (平成30年4月) 博士(心理学)
		心理学概論 実験心理学 知覚・認知心理学Ⅰ 色彩心理学 調査法Ⅱ 心理演習 心理実習 基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ 基礎演習Ⅲ 基礎演習Ⅳ 総合演習Ⅰ 総合演習Ⅱ 総合演習Ⅲ 総合演習Ⅳ
専 教授		三宅(音谷) 理子 (47) (平成30年4月) 修士(教育学)※
		公認心理師の職責 教育・学校心理学 家族心理学 心理的アセスメント 心理学的支援法 心理演習 心理実習 基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ 基礎演習Ⅲ 基礎演習Ⅳ 総合演習Ⅰ 総合演習Ⅱ 総合演習Ⅲ 総合演習Ⅳ
専 教授		宮本 益治 (66) (平成30年4月) 文学修士※
		共生人間論実習 生涯発達心理学 福祉心理学 心理演習 心理実習 基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ 基礎演習Ⅲ 基礎演習Ⅳ 総合演習Ⅰ 総合演習Ⅱ 総合演習Ⅲ 総合演習Ⅳ

【認可時又は届出時】

【平成30年度】

【令和元年度】

専任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	森本 素世子 (62) <平成30年4月> Master of Arts (米国)
		英語リーディング 外国の文学 比較文化論 心理学英文講読Ⅰ 心理学英文講読Ⅱ 基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ 基礎演習Ⅲ 基礎演習Ⅳ 総合演習Ⅰ 総合演習Ⅱ 総合演習Ⅲ 総合演習Ⅳ
専	准教授	谷 伊織 (38) <平成30年4月> 博士(心理学)
		発達心理学 教育心理学 感情・人格心理学Ⅰ 心理統計法Ⅲ 心理測定法 児童心理学 調査法Ⅱ 心理演習 心理実習 基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ 基礎演習Ⅲ 基礎演習Ⅳ 総合演習Ⅰ 総合演習Ⅱ 総合演習Ⅲ 総合演習Ⅳ
専	准教授	樋町(角田) 美華 (36) <平成30年4月> 博士(臨床心理学)
		臨床心理学概論 精神疾患とその治療 健康・医療心理学 面接法 心理演習 心理実習 基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ 基礎演習Ⅲ 基礎演習Ⅳ 総合演習Ⅰ 総合演習Ⅱ 総合演習Ⅲ 総合演習Ⅳ
専	助教	山川 香織 (32) <平成30年4月> 博士(心理学)
		基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ 基礎演習Ⅲ 基礎演習Ⅳ 総合演習Ⅰ 総合演習Ⅱ 総合演習Ⅲ 総合演習Ⅳ

専任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	森本 素世子 (62) <平成30年4月> Master of Arts (米国)
		英語リーディング 外国の文学 比較文化論 心理学英文講読Ⅰ 心理学英文講読Ⅱ 基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ 基礎演習Ⅲ 基礎演習Ⅳ 総合演習Ⅰ 総合演習Ⅱ 総合演習Ⅲ 総合演習Ⅳ
専	准教授	樋町(角田) 美華 (36) <平成30年4月> 博士(臨床心理学)
		臨床心理学概論 精神疾患とその治療 健康・医療心理学 面接法 心理演習 心理実習 基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ 基礎演習Ⅲ 基礎演習Ⅳ 総合演習Ⅰ 総合演習Ⅱ 総合演習Ⅲ 総合演習Ⅳ
専	助教	山川 香織 (32) <平成30年4月> 博士(心理学)
		基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ 基礎演習Ⅲ 基礎演習Ⅳ 総合演習Ⅰ 総合演習Ⅱ 総合演習Ⅲ 総合演習Ⅳ
専	助教	高田 琢弘 (30) <平成30年4月> 博士(心理学)
		発達心理学 教育心理学 感情・人格心理学Ⅰ 心理統計法Ⅲ 心理測定法 児童心理学 調査法Ⅱ 心理演習 心理実習 基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ 基礎演習Ⅲ 基礎演習Ⅳ 総合演習Ⅰ 総合演習Ⅱ 総合演習Ⅲ 総合演習Ⅳ

専任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	森本 素世子 (63) <平成30年4月> Master of Arts (米国)
		英語リーディング 外国の文学 比較文化論 心理学英文講読Ⅰ 心理学英文講読Ⅱ 基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ 基礎演習Ⅲ 基礎演習Ⅳ 総合演習Ⅰ 総合演習Ⅱ 総合演習Ⅲ 総合演習Ⅳ
専	准教授	樋町(角田) 美華 (37) <平成30年4月> 博士(臨床心理学)
		臨床心理学概論 精神疾患とその治療 健康・医療心理学 面接法 心理演習 心理実習 基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ 基礎演習Ⅲ 基礎演習Ⅳ 総合演習Ⅰ 総合演習Ⅱ 総合演習Ⅲ 総合演習Ⅳ
専	助教	山川 香織 (33) <平成30年4月> 博士(心理学)
		心理学実験Ⅰ 心理学実験Ⅱ 知覚・認知心理学Ⅱ 調査法Ⅱ 基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ 基礎演習Ⅲ 基礎演習Ⅳ 総合演習Ⅰ 総合演習Ⅱ 総合演習Ⅲ 総合演習Ⅳ
専	助教	高田 琢弘 (31) <平成30年4月> 博士(心理学)
		発達心理学 教育心理学 感情・人格心理学Ⅰ 心理統計法Ⅲ 心理測定法 児童心理学 調査法Ⅱ 心理演習 心理実習 基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ 基礎演習Ⅲ 基礎演習Ⅳ 総合演習Ⅰ 総合演習Ⅱ 総合演習Ⅲ 総合演習Ⅳ

【認可時又は届出時】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	服部 祐児 (57) <平成30年4月> 体育学修士
		スポーツ(ゴルフ)
兼任	教授	浅川 和也 (61) <平成31年9月> 修士(ARTS) (米国)
		異文化理解
兼任	教授	安田 文吉 (72) <平成30年4月> 博士(文学)
		日本文化論 日本の文化(舞踊)
兼任	教授	伊藤 淑人 (65) <平成30年4月> 文学修士
		日本の文学
兼任	教授	伊藤 きよ子 (65) (平成30年4月) 生活学修士
		生活と環境 自然と環境
兼任	教授	倉橋 洋子 (69) <平成30年4月> 文学修士
		海外異文化研修A 海外異文化研修B 海外異文化研修C
兼任	教授	河野 順子 (65) <平成31年4月> 修士(教育学)
		障害者(児)心理学
兼任	教授	高柳 富士丸 (66) <平成32年4月> 医学博士
		人体の構造と機能及び疾病

【平成30年度】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	服部 祐児 (57) <平成30年9月> 体育学修士
		スポーツ(ゴルフ)
兼任	教授	浅川 和也 (60) <平成31年9月> 修士(ARTS) (米国)
		異文化理解
兼任	教授	安田 文吉 (72) <平成30年4月> 博士(文学)
		日本文化論 日本の文化(舞踊)
兼任	教授	伊藤 淑人 (65) <平成30年4月> 文学修士
		日本の文学
兼任	教授	伊藤 きよ子 (65) (平成30年4月) 生活学修士
		生活と環境 自然と環境
兼任	教授	倉橋 洋子 (69) <平成30年4月> 文学修士
		海外異文化研修A 海外異文化研修B 海外異文化研修C
兼任	教授	河野 順子 (64) <平成31年4月> 修士(教育学)
		障害者・障害児心理学
兼任	教授	高柳 富士丸 (64) <平成32年4月> 医学博士
		人体の構造と機能及び疾病

【令和元年度】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	服部 祐児 (58) <平成30年9月> 体育学修士
		スポーツ(ゴルフ)
兼任	准教授	竹野 富美子 (57) <令和元年9月> 修士(文学)※
		異文化理解
兼任	教授	安田 文吉 (73) <平成30年4月> 博士(文学)
		日本文化論 日本の文化(舞踊)
兼任	教授	伊藤 淑人 (66) <平成30年4月> 文学修士
		日本の文学
兼任	教授	伊藤 きよ子 (65) (平成30年4月) 生活学修士
		生活と環境 自然と環境
兼任	教授	倉橋 洋子 (69) <平成30年4月> 文学修士
		海外異文化研修A 海外異文化研修B 海外異文化研修C
兼任	教授	青谷 法子 (54) <平成31年4月> 学術修士※
		海外異文化研修A 海外異文化研修B 海外異文化研修C
兼任	教授	河野 順子 (65) <平成31年4月> 修士(教育学)
		障害者(児)心理学
兼任	教授	高柳 富士丸 (65) <令和2年4月> 医学博士
		人体の構造と機能及び疾病

【認可時又は届出時】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	Lafaye Elsom (59) <平成31年4月> 言語学修士(英語教育) (英国)
		英語ライティング
兼任	准教授	島田 肇 (59) (平成30年4月) 社会福祉学博士
		社会福祉学の基礎
兼任	准教授	早野 禎二 (56) <平成30年4月> 社会学修士※
		現代社会と生活
兼任	講師	齋藤 蒙光 (42) <平成30年4月> 博士(文学)
		共生人間論Ⅰ(ブツダと法然) 共生人間論Ⅱ 共生人間論実習
兼任	講師	Martin Rycroft (56) <平成32年4月> 修士(物理化学) (英国)
		英語ディスカッション
兼任	講師	伊藤 健治 (34) <平成30年4月> 修士(教育学)
		憲法と基本権

【平成30年度】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	白石 剛之 (66) <平成30年9月> 医学博士
		生活と化学
兼任	准教授	Lafaye Elsom (58) <平成31年4月> 言語学修士(英語教育) (英国)
		英語ライティング
兼任	准教授	島田 肇 (60) (平成30年4月) 社会福祉学博士
		社会福祉学の基礎
兼任	准教授	早野 禎二 (56) <平成30年4月> 社会学修士※
		現代社会と生活
兼任	講師	齋藤 蒙光 (42) <平成30年4月> 博士(文学)
		共生人間論Ⅰ(ブツダと法然) 共生人間論Ⅱ 共生人間論実習
兼任	講師	Martin Rycroft (54) <平成32年9月> 修士(物理化学) (英国)
		英語ディスカッション
兼任	講師	伊藤 健治 (34) <平成30年4月> 修士(教育学)
		憲法と基本権

【令和元年度】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	白石 剛之 (67) <平成30年9月> 医学博士
		生活と化学
兼任	教授	北出 真紀恵 (56) <令和元年9月> 修士(社会学)※
		日本語表現法A(音声)
兼任	教授	糸魚川 政孝 (66) <令和元年9月> 薬学博士
		地域社会と共生
兼任	講師	Lafaye Elsom (59) <平成31年4月> 言語学修士(英語教育) (英国)
		英語ライティング
兼任	准教授	島田 肇 (61) (平成30年4月) 社会福祉学博士
		社会福祉学の基礎
兼任	准教授	早野 禎二 (57) <平成30年4月> 社会学修士※
		現代社会と生活
兼任	講師	齋藤 蒙光 (43) <平成30年4月> 博士(文学)
		共生人間論Ⅰ(ブツダと法然) 共生人間論Ⅱ
兼任	講師	Martin Rycroft (55) <令和2年9月> 修士(物理化学) (英国)
		英語ディスカッション
兼任	講師	伊藤 健治 (35) <平成30年4月> 修士(教育学)
		憲法と基本権
兼任	講師	駒田 洋 (69) <令和元年9月> 医学博士
		生活と環境

【認可時又は届出時】

専任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	大金 邦成 (52) <平成30年9月> 博士(数理学)
		健康と運動
兼任	講師	安 裁漢 (52) <平成30年4月> 体育学修士※
		スポーツ(バドミントン) スポーツ(テニス)
兼任	講師	杉浦 裕司 (67) <平成30年4月> 学士(教育学)
		スポーツ(バスケットボール)
兼任	講師	天野 雅斗 (34) <平成30年4月> 修士(体育学)※
		スポーツ(バレーボール)
兼任	講師	内藤 法永 (37) <平成30年4月> 修士(体育学)
		スポーツ(サッカー)
兼任	講師	東 美幸 (38) <平成30年4月> 学士(体育学)
		スポーツ(ソフトボール)

【平成30年度】

専任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	大金 邦成 (52) <平成30年9月> 博士(数理学)
		健康と運動
兼任	講師	安 裁漢 (53) <平成30年4月> 体育学修士※
		スポーツ(バドミントン) スポーツ(テニス)
兼任	講師	金 藤 春 (59) <平成30年4月> 修士(外国語)
		スポーツ(バドミントン)
兼任	講師	樋口 憲生 (59) <平成30年9月> 体育学修士
		スポーツ(テニス)
兼任	講師	佐分 慎弥 (31) <平成30年9月> 修士(体育学)
		スポーツ(テニス)
兼任	講師	杉浦 裕司 (68) <平成30年4月> 学士(教育学)
		スポーツ(バスケットボール)
兼任	講師	天野 雅斗 (34) <平成30年4月> 修士(体育学)※
		スポーツ(バレーボール)
兼任	講師	内藤 法永 (37) <平成30年4月> 修士(体育学)
		スポーツ(サッカー)
兼任	講師	東 美幸 (38) <平成30年9月> 学士(体育学)
		スポーツ(ソフトボール)

【令和元年度】

専任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	大金 邦成 (53) <平成30年9月> 博士(数理学)
		健康と運動
兼任	講師	安 裁漢 (54) <平成30年4月> 体育学修士※
		スポーツ(バドミントン) スポーツ(テニス)
兼任	講師	金 藤 春 (60) <平成30年4月> 修士(外国語)
		スポーツ(バドミントン)
兼任	講師	樋口 憲生 (60) <平成30年9月> 体育学修士
		スポーツ(テニス)
兼任	講師	佐分 慎弥 (32) <平成30年9月> 修士(体育学)
		スポーツ(テニス)
兼任	講師	杉浦 裕司 (69) <平成30年4月> 学士(教育学)
		スポーツ(バスケットボール)
兼任	講師	天野 雅斗 (35) <平成30年4月> 修士(体育学)※
		スポーツ(バレーボール)
兼任	講師	内藤 法永 (38) <平成30年4月> 修士(体育学)
		スポーツ(サッカー)
兼任	講師	東 美幸 (39) <平成30年9月> 学士(体育学)
		スポーツ(ソフトボール)

【認可時又は届出時】

専任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	伊藤 理香 (49) <平成30年4月> 修士(健康科学)
		スポーツ(エアロビクス)
兼任	講師	矢野 真弓 (56) <平成30年4月> 学士(体育学)
		スポーツ(アクアビクス)
兼任	講師	古田 智子 (47) <平成30年4月> 博士(英文学)
		総合英語Ⅰ 総合英語Ⅱ 総合英語Ⅲ
兼任	講師	Jeffrey Bondoc (36) <平成30年4月> 修士(教育学) (豪州)
		英会話Ⅰ 英会話Ⅱ 英会話Ⅲ

【平成30年度】

専任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	伊藤 理香 (49) <平成30年9月> 修士(健康科学)
		スポーツ(エアロビクス)
兼任	講師	矢野 真弓 (57) <平成30年9月> 学士(体育学)
		スポーツ(アクアビクス)
兼任	講師	古田 智子 (47) <平成30年4月> 博士(英文学)
		総合英語Ⅰ 総合英語Ⅱ 総合英語Ⅲ
兼任	講師	宮崎 尚一 (60) <平成30年4月> 修士(文学)
		総合英語Ⅰ 総合英語Ⅱ
兼任	講師	蟹江 弘子 (59) <平成30年4月> 修士(文学)※
		総合英語Ⅰ 総合英語Ⅱ
兼任	講師	Jeffrey Bondoc (36) <平成30年4月> 修士(教育学) (豪州)
		英会話Ⅰ 英会話Ⅱ 英会話Ⅲ
兼任	講師	Jason Robert Taylor (42) <平成30年4月> 修士(米園)
		英会話Ⅰ 英会話Ⅱ

【令和元年度】

専任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	伊藤 理香 (50) <平成30年9月> 修士(健康科学)
		スポーツ(エアロビクス)
兼任	講師	矢野 真弓 (58) <平成30年9月> 学士(体育学)
		スポーツ(アクアビクス)
兼任	講師	古田 智子 (48) <平成30年4月> 博士(英文学)
		総合英語Ⅰ 総合英語Ⅱ 総合英語Ⅲ
兼任	講師	宮崎 尚一 (61) <平成30年4月> 修士(文学)
		総合英語Ⅰ 総合英語Ⅱ
兼任	講師	蟹江 弘子 (60) <平成30年4月> 修士(文学)※
		総合英語Ⅰ 総合英語Ⅱ
兼任	講師	川端 理恵 (46) <令和元年9月> 修士(文学)
		総合英語Ⅲ
兼任	講師	秋元 直 (45) <平成31年4月> 修士(英文学)※ 修士(人間文化)
		総合英語Ⅰ 総合英語Ⅱ
兼任	講師	Jeffrey Bondoc (37) <平成30年4月> 修士(教育学) (豪州)
		英会話Ⅰ 英会話Ⅱ
兼任	講師	Jason Robert Taylor (43) <平成30年4月> 修士(米園)
		英会話Ⅰ 英会話Ⅱ 英会話Ⅲ

【認可時又は届出時】

専任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	吉田 仁 (57) <平成31年4月> 博士(文学) (中国)
		中国語 I 中国語 II

【平成30年度】

専任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	Paul Stephen Salisbury (60) <平成30年4月> 修士(経営学) (英国)
		英会話 I 英会話 II
兼任	講師	Nicholas Metcalf (59) <平成30年4月> 英文学修士 歴史学修士 (新西蘭)
		英会話 I 英会話 II
兼任	講師	Mary Teresa Hayes (62) <平成30年4月> BA (愛蘭)
		英会話 I 英会話 II
兼任	講師	Michael Marshall (52) <平成30年4月> MA (英国)
		英会話 I 英会話 II
兼任	講師	吉田 仁 (56) <平成31年4月> 博士(文学) (中国)
		中国語 I 中国語 II

【令和元年度】

専任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	Nicholas Metcalf (60) <平成30年4月> 英文学修士 歴史学修士 (新西蘭)
		英会話 I 英会話 II 英会話 III
兼任	講師	Mary Teresa Hayes (63) <平成30年4月> BA (愛蘭)
		英会話 I 英会話 II
兼任	講師	Michael Marshall (53) <平成30年4月> MA (英国)
		英会話 I 英会話 II
兼任	講師	Mark Campbell (44) <平成31年4月> 学士(Business Studies) (英国)
		英会話 III
兼任	講師	Dean Gascoigne (54) <平成31年4月> BA (英国)
		英会話 I 英会話 II
兼任	講師	Steven J. Polzin (59) <平成31年4月> BA (米国)
		英会話 III
兼任	講師	程 凱 (58) <平成31年4月> 修士(教育学) ※
		中国語 I 中国語 II

【認可時又は届出時】

専任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	趙 賢美 (45) <平成31年4月> 修士(教育学)※
		韓国語Ⅰ 韓国語Ⅱ
兼任	講師	Dubert Davy (43) <平成31年4月> 修士(日本語学) (仏国)
		フランス語Ⅰ フランス語Ⅱ
兼任	講師	水畑 千鶴 (61) <平成31年4月> 学士(歯学) (伯刺西爾)
		ポルトガル語Ⅰ ポルトガル語Ⅱ
兼任	講師	河村 たか子 (68) <平成30年4月> 高等学校卒
		日本語表現法A(音声)
兼任	講師	緑川 幸成 (54) <平成30年4月> 文学修士※
		日本語表現法B(文章)
兼任	講師	安原 功 (55) <平成30年4月> 博士(歴史学)
		日本の歴史
兼任	講師	池田 正人 (57) <平成30年9月> 学士(文学)
		世界の歴史
兼任	講師	山崎 拓哉 (46) <平成31年4月> 学士(法学)
		社会生活と法

【平成30年度】

専任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	趙 賢美 (44) <平成31年4月> 修士(教育学)※
		韓国語Ⅰ 韓国語Ⅱ
兼任	講師	Dubert Davy (42) <平成31年4月> 修士(日本語学) (仏国)
		フランス語Ⅰ フランス語Ⅱ
兼任	講師	水畑 千鶴 (60) <平成31年4月> 学士(歯学) (伯刺西爾)
		ポルトガル語Ⅰ ポルトガル語Ⅱ
兼任	講師	河村 たか子 (68) <平成30年4月> 高等学校卒
		日本語表現法A(音声)
兼任	講師	緑川 幸成 (54) <平成30年4月> 文学修士※
		日本語表現法B(文章)
兼任	講師	安原 功 (55) <平成30年4月> 博士(歴史学)
		日本の歴史
兼任	講師	池田 正人 (57) <平成30年9月> 学士(文学)
		世界の歴史
兼任	講師	山崎 拓哉 (45) <平成31年4月> 学士(法学)
		社会生活と法

【令和元年度】

専任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	趙 賢美 (45) <平成31年4月> 修士(教育学)※
		韓国語Ⅰ 韓国語Ⅱ
兼任	講師	Hergott Florian (34) <平成31年4月> Master Didactique du FLE & Ingenierie Linguistique (仏蘭西)
		フランス語Ⅰ フランス語Ⅱ
兼任	講師	水畑 千鶴 (61) <平成31年4月> 学士(歯学) (伯刺西爾)
		ポルトガル語Ⅰ ポルトガル語Ⅱ
兼任	講師	河村 たか子 (69) <平成30年4月> 高等学校卒
		日本語表現法A(音声)
兼任	講師	緑川 幸成 (55) <平成30年4月> 文学修士※
		日本語表現法B(文章)
兼任	講師	安原 功 (56) <平成30年4月> 博士(歴史学)
		日本の歴史
兼任	講師	池田 正人 (58) <平成30年9月> 学士(文学)
		世界の歴史
兼任	講師	山崎 拓哉 (46) <平成31年4月> 学士(法学)
		社会生活と法

【認可時又は届出時】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	長谷 理恵子 (61) <平成30年9月> 修士(経済学)
		暮らしと経済
兼任	講師	岡田 宏太郎 (59) <平成32年4月> 法学修士※
		市民社会と政治
兼任	講師	祖父江 美穂 (50) <平成32年4月> 博士(英文学)
		国際事情
兼任	講師	稲垣 穂 (55) <平成30年4月> 農学博士
		生命の科学
兼任	講師	青木 恭彦 (57) <平成30年9月> 農学博士
		生活と化学
兼任	講師	犬飼 辰広 (66) <平成30年9月> 数学専攻修士
		数学入門
兼任	講師	長谷川 篤卿 (52) <平成30年4月> 学士(経済学)
		日本の文化(書道)
兼任	講師	石田 巳賀 (51) <平成30年4月> 修士(造形)
		日本の文化(華道)
兼任	講師	加藤 令吉 (64) <平成30年4月> 学士(文学)
		日本の文化(陶芸)

【平成30年度】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	長谷 理恵子 (61) <平成30年9月> 修士(経済学)
		暮らしと経済
兼任	講師	岡田 宏太郎 (57) <平成32年4月> 法学修士※
		市民社会と政治
兼任	講師	祖父江 美穂 (49) <平成32年4月> 博士(英文学)
		国際事情
兼任	講師	稲垣 穂 (55) <平成30年4月> 農学博士
		生命の科学
兼任	講師	長谷川 篤卿 (52) <平成30年4月> 学士(経済学)
		日本の文化(書道)
兼任	講師	石田 巳賀 (51) <平成30年4月> 修士(造形)
		日本の文化(華道)
兼任	講師	加藤 令吉 (64) <平成30年4月> 学士(文学)
		日本の文化(陶芸)

【令和元年度】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	長谷 理恵子 (62) <平成30年9月> 修士(経済学)
		暮らしと経済
兼任	講師	岡田 宏太郎 (58) <令和2年4月> 法学修士※
		市民社会と政治
兼任	講師	祖父江 美穂 (49) <令和2年4月> 博士(英文学)
		国際事情
兼任	講師	稲垣 穂 (56) <平成30年4月> 農学博士
		生命の科学
兼任	講師	長谷川 篤卿 (53) <平成30年4月> 学士(経済学)
		日本の文化(書道)
兼任	講師	石田 巳賀 (52) <平成30年4月> 修士(造形)
		日本の文化(華道)
兼任	講師	加藤 令吉 (65) <平成30年4月> 学士(文学)
		日本の文化(陶芸)

【認可時又は届出時】

専任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	加藤 隆広 (55) <平成30年4月> 数理情報学修士
		情報リテラシーA 情報リテラシーB
兼任	講師	小池 あずさ (55) <平成30年4月> 短期大学士
		情報リテラシーA 情報リテラシーB
兼任	講師	畔柳 和枝 (44) <平成31年4月> 修士(社会学)※
		生涯学習概論
兼任	講師	伊藤 史 (40) <平成31年4月> 修士(文学)※
		心理学実験Ⅰ 心理学実験Ⅱ
兼任	講師	應治 麻美 (31) <平成31年4月> 修士(福祉社会学)※
		心理学実験Ⅰ 心理学実験Ⅱ
兼任	講師	小澤 良 (49) <平成31年4月> 博士(心理学)
		心理学実験Ⅰ 心理学実験Ⅱ
兼任	講師	齋藤 菜月 (27) <平成31年4月> 修士(心理学)
		心理学実験Ⅰ 心理学実験Ⅱ
兼任	講師	櫻井 優太 (37) <平成31年4月> 博士(心理学)
		心理学実験Ⅰ 心理学実験Ⅱ 神経・生理心理学

【平成30年度】

専任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	加藤 隆広 (55) <平成30年4月> 数理情報学修士
		情報リテラシーA 情報リテラシーB
兼任	講師	小池 あずさ (55) <平成30年4月> 短期大学士
		情報リテラシーA 情報リテラシーB
兼任	講師	細谷 順二 (57) <平成30年4月> 理学修士
		情報リテラシーA 情報リテラシーB
兼任	講師	畔柳 和枝 (43) <平成31年9月> 修士(社会学)※
		生涯学習概論
兼任	講師	伊藤 史 (39) <平成31年4月> 修士(文学)※
		心理学実験Ⅰ 心理学実験Ⅱ
兼任	講師	應治 麻美 (30) <平成31年4月> 修士(福祉社会学)※
		心理学実験Ⅰ 心理学実験Ⅱ
兼任	講師	小澤 良 (48) <平成31年4月> 博士(心理学)
		心理学実験Ⅰ 心理学実験Ⅱ
兼任	講師	齋藤 菜月 (26) <平成31年4月> 修士(心理学)
		心理学実験Ⅰ 心理学実験Ⅱ
兼任	講師	櫻井 優太 (36) <平成31年4月> 博士(心理学)
		心理学実験Ⅰ 心理学実験Ⅱ 神経・生理心理学

【令和元年度】

専任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	加藤 隆広 (56) <平成30年4月> 数理情報学修士
		情報リテラシーA 情報リテラシーB
兼任	講師	小池 あずさ (56) <平成30年4月> 短期大学士
		情報リテラシーA 情報リテラシーB
兼任	講師	細谷 順二 (58) <平成30年4月> 理学修士
		情報リテラシーA 情報リテラシーB
兼任	講師	畔柳 和枝 (44) <令和元年9月> 修士(社会学)※
		生涯学習概論
兼任	講師	伊藤 史 (40) <平成31年4月> 修士(文学)※
		心理学実験Ⅰ 心理学実験Ⅱ
兼任	講師	應治 麻美 (31) <平成31年4月> 修士(福祉社会学)※
		心理学実験Ⅰ 心理学実験Ⅱ
兼任	講師	小澤 良 (49) <平成31年4月> 博士(心理学)
		心理学実験Ⅰ 心理学実験Ⅱ
兼任	講師	齋藤 菜月 (27) <平成31年4月> 修士(心理学)
		心理学実験Ⅰ 心理学実験Ⅱ
兼任	講師	櫻井 優太 (37) <平成31年4月> 博士(心理学)
		神経・生理心理学

【認可時又は届出時】

専任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	菅田 達也 (55) <平成31年4月> 文学修士※
		心理学実験Ⅰ 心理学実験Ⅱ
兼任	講師	中田 龍三郎 (41) <平成31年4月> 博士(心理学)
		心理学実験Ⅰ 心理学実験Ⅱ
兼任	講師	松尾 朗子 (35) <平成31年4月> 修士(社会心理学) (米国)
		心理学実験Ⅰ 心理学実験Ⅱ
兼任	講師	福本 和哉 (39) <平成32年4月> 修士(心理学)※
		学習・言語心理学
兼任	講師	塚本 恵信 (47) <平成30年4月> 修士(文学)
		コミュニケーション心理学
兼任	講師	前田 洋枝 (44) <平成32年9月> 博士(心理学)
		環境心理学
兼任	講師	小嶋 理江 (42) <平成32年9月> 文学修士※
		応用心理学 司法・犯罪心理学

【平成30年度】

専任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	菅田 達也 (54) <平成31年4月> 文学修士※
		心理学実験Ⅰ 心理学実験Ⅱ
兼任	講師	中田 龍三郎 (40) <平成31年4月> 博士(心理学)
		心理学実験Ⅰ 心理学実験Ⅱ
兼任	講師	松尾 朗子 (34) <平成31年4月> 修士(社会心理学) (米国)
		心理学実験Ⅰ 心理学実験Ⅱ
兼任	講師	福本 和哉 (38) <平成32年4月> 修士(心理学)※
		学習・言語心理学
兼任	講師	塚本 恵信 (47) <平成30年4月> 修士(文学)
		コミュニケーション心理学
兼任	講師	前田 洋枝 (42) <平成32年9月> 博士(心理学)
		環境心理学
兼任	講師	小嶋 理江 (40) <平成32年4月> 文学修士※
		応用心理学 司法・犯罪心理学

【令和元年度】

専任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	菅田 達也 (55) <平成31年4月> 文学修士※
		心理学実験Ⅰ 心理学実験Ⅱ
兼任	講師	中田 龍三郎 (41) <平成31年4月> 博士(心理学)
		心理学実験Ⅰ 心理学実験Ⅱ
兼任	講師	田中 友理 (26) <平成31年4月> 修士(心理学)
		心理学実験Ⅰ 心理学実験Ⅱ
兼任	講師	朴 ゴウン (29) <平成31年4月> 修士(心理学)
		心理学実験Ⅰ 心理学実験Ⅱ
兼任	講師	福本 和哉 (39) <令和2年4月> 修士(心理学)※
		学習・言語心理学
兼任	講師	塚本 恵信 (48) <平成30年4月> 修士(文学)
		障害者・障害児心理学 コミュニケーション心理学
兼任	講師	前田 洋枝 (43) <令和2年9月> 博士(心理学)
		環境心理学
兼任	講師	小嶋 理江 (41) <令和2年4月> 文学修士※
		応用心理学 司法・犯罪心理学

【認可時又は届出時】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	金田 宗久 (36) <平成32年9月> 修士(心理学)※
		行動観察法
兼任	講師	松本 明日香 (29) <平成32年4月> 修士(心理学)
		面接法
兼任	講師	大城 純男 (69) <平成32年9月> 博士(経済学)
		関係行政論

【平成30年度】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	金田 宗久 (34) <平成32年9月> 修士(心理学)※
		行動観察法
兼任	講師	松本 明日香 (27) <平成32年4月> 修士(心理学)
		面接法
兼任	講師	大城 純男 (67) <平成32年9月> 博士(経済学)
		関係行政論

【令和元年度】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	金田 宗久 (35) <令和2年9月> 修士(心理学)※
		行動観察法
兼任	講師	松本 明日香 (28) <令和2年4月> 修士(心理学)
		面接法
兼任	講師	大城 純男 (68) <令和2年9月> 博士(経済学)
		関係行政論

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼任教員を含む。)を黒字で記入してください。
- その上で、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は赤字としてください。**
- ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教員名簿」を確認してください。
 - ・ 年齢は、**それぞれの年度の5月1日時点の過年齢**を記入してください。
 - ・ 専任(専門職大学等は専、実専、実(研)、実(実)、実(実)、兼任、兼任の順に記入してください。
 - ・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除し、詰めてください。

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【平成30年度】

- ・公認心理師のカリキュラムに対応するため、以下のように授業科目の名称を変更。
「心理学研究法・統計法」→「心理学研究法」、「心理統計法Ⅰ」→「心理学統計法Ⅰ」、「心理統計法Ⅱ」→「心理学統計法Ⅱ」、
「心理統計法Ⅲ」→「心理学統計法Ⅲ」、「障害者（児）心理学」→「障害者・障害児心理学」
- ・谷伊織准教授就任辞退により、高田琢助教に変更。
- ・青木恭彦兼任講師就任辞退により、白石剛之兼任教授に変更。
- ・大銅辰弘兼任講師就任辞退により、青山広専任教授に変更。
- ・教育効果を考慮して開講コマ数を増加したため、「スポーツ（バドミントン）」に以下の教員を追加。
金謙登兼任講師
- ・教育効果を考慮して開講コマ数を増加したため、「スポーツ（テニス）」に以下の教員を追加。
樋口憲生兼任講師、佐分儀弥兼任講師
- ・教育効果を考慮して開講コマ数を増加したため、「総合英語Ⅰ」「総合英語Ⅱ」に以下の教員を追加。
宮崎尚一兼任講師、蟹江弘子兼任講師
- ・教育効果を考慮して開講コマ数を増加したため、「英会話Ⅰ」「英会話Ⅱ」に以下の教員を追加。
Jason Robert Taylor兼任講師、Paul Stephen Salisbury兼任講師、Nicholas Metcalf兼任講師、
Mary Teresa Hayes兼任講師、Michael Marshall兼任講師
- ・教育効果を考慮して開講コマ数を増加したため、「情報リテラシーA」「情報リテラシーB」に以下の教員を追加。
細谷順二兼任講師
- ・授業開講学期の変更に伴い、服部祐良兼任教授の就任が平成30年4月から平成30年9月に変更。
- ・授業開講学期の変更に伴い、Martin Rycroft兼任講師の就任が平成32年4月から平成32年9月に変更。
- ・授業開講学期の変更に伴い、東美幸兼任講師の就任が平成30年4月から平成30年9月に変更。
- ・授業開講学期の変更に伴い、伊藤理香兼任講師の就任が平成30年4月から平成30年9月に変更。
- ・授業開講学期の変更に伴い、矢野真弓兼任講師の就任が平成30年4月から平成30年9月に変更。
- ・授業開講学期の変更に伴い、畔柳和枝兼任講師の就任が平成31年4月から平成31年9月に変更。
- ・授業開講学期の変更に伴い、小嶋理江兼任講師の就任が平成32年9月から平成32年4月に変更。

【令和元年度】

- ・担当科目の見直しにより、齋藤夢光兼任教授の担当科目「共生人間論実習」を、宮本益治教授に変更。
- ・担当科目の見直しにより、青山広教授の担当科目「地域社会と共生」を、糸魚川政孝兼任教授に変更。
- ・担当科目の見直しにより、河野和明教授の担当科目「心理学実験Ⅰ」「心理学実験Ⅱ」「調査法Ⅱ」及び、高橋晋也教授の担当科目「知覚・認知心理学Ⅱ」を、山川香織助教に変更。
- ・担当科目の見直しにより、河野順子兼任教授の担当科目「障害者・障害児心理学」を、塚本恵信兼任講師に変更。
- ・担当科目の見直しにより、吉田仁兼任講師の担当科目「中国語Ⅰ」「中国語Ⅱ」を、程凱兼任講師に変更。
- ・担当科目の見直しにより、櫻井優太兼任講師の担当科目「心理学実験Ⅰ」「心理学実験Ⅱ」を、田中友理兼任講師に変更。
- ・担当科目の見直しにより、Jeffrey Bondoc兼任講師の担当科目「英会話Ⅲ」を削除。
- ・浅川和也兼任教授退職のため、「異文化理解」を竹野富美子兼任教授に変更。
- ・倉橋洋子兼任教授退職のため、「海外異文化研究A」「海外異文化研究B」「海外異文化研究C」を青谷法子兼任教授に変更
- ・伊藤さよ子兼任教授退職のため、「自然と環境」を青山広教授に変更。
- ・伊藤さよ子兼任教授退職のため、「生活と環境」を駒田洋兼任講師に変更。
- ・LaFaye Elson兼任教授の職位を兼任講師に変更。
- ・Paul Stephen Salisbury兼任講師退職のため、「英会話Ⅰ」「英会話Ⅱ」の担当教員をDean Gascoigne兼任講師に変更。
- ・Dubert Davy兼任講師退職のため、「フランス語Ⅰ」「フランス語Ⅱ」をHergott Florian兼任講師に変更。
- ・松尾朗子兼任講師就任辞退のため、「心理学実験Ⅰ」「心理学実験Ⅱ」の担当教員を朴ゴン兼任講師に変更。
- ・教育効果を考慮して開講コマ数を増加したため、「日本語表現法A（音声）」に以下の教員を追加。
北出真紀恵兼任教授
- ・教育効果を考慮して開講コマ数を増加したため、「英会話Ⅲ」に以下の教員を追加。
Jason Robert Taylor兼任講師、Nicholas Metcalf兼任講師、Mark Campbell兼任講師、Steven J. Polzin兼任講師
- ・教育効果を考慮して開講コマ数を増加したため、「総合英語Ⅰ」「総合英語Ⅱ」に以下の教員を追加。
秋元恵兼任講師
- ・教育効果を考慮して開講コマ数を増加したため、「総合英語Ⅲ」に以下の教員を追加。
川端理恵兼任講師

- (注) ・ 変更内容を簡書書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **風可で設置された学部等の専任教員を重要する場合**は、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ 「専任教員採用等変更書（AC）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
- なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
- ・ 不要な年度（平成29年度開設であれば平成28年度）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要専 任教員数	うち、完成年度時 における設置基準上 の必要教授数
10 名	5 名

(注) ・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二条別表第一により算出される専任教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員数【大学】

設置時の計画					現在（報告時）の状況				
教授	准教授	講師	助教	計 (A)	教授	准教授	講師	助教	計 (B)
9	2	0	1	12	9	1	0	2	12
(9)	(1)	(0)	(2)	(12)					
現在（報告時）の完成年度時の状況					現在（報告時）の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計 (C)	教授	准教授	講師	助教	計 (D)
9	1	0	2	12	9	1	0	2	12
[]	[Δ1]	[]	[1]	[]	[]	[Δ1]	[]	[1]	[]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ 「**現在（報告時）の完成年度時の状況**」には、「**現在（報告時）の状況**」に記入した数字に、**教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入**するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告時（上記 (B)）の教員の うち、定年を延長 して採用している 教員数	完成年度時（上記 (C)）の教員 うち、定年を延長し て採用する教員数
教授70 それ以外65 歳	0 名	0 名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。
 [] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{12}{12} = \boxed{100} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況(B)}} = \frac{0}{12} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由						
1	准教授	谷 伊織	H30.4	必修	発達心理学	①	他大学就任のため就任辞退（30）						
				選択	教育心理学	①							
				選択	感情・人格心理学Ⅰ	①							
				選択	心理学統計法Ⅲ	①							
				選択	心理測定法	①							
				選択	児童心理学	①							
				選択	調査法Ⅱ	①							
				選択	心理演習	①							
				選択	心理実験	①							
				必修	基礎演習Ⅰ	①							
				必修	基礎演習Ⅱ	①							
				必修	基礎演習Ⅲ	①							
				必修	基礎演習Ⅳ	①							
				必修	総合演習Ⅰ	①							
				必修	総合演習Ⅱ	①							
				必修	総合演習Ⅲ	①							
必修	総合演習Ⅳ	①											
合計（D）					後任補充状況の集計（E）								
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）			①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）						
1	人	必修	9	科目	必修	9	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	8	科目	選択	8	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	17	科目	計	17	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
- ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことで、就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由						
		該当なし											
合計（F）					後任補充状況の集計（G）								
辞任した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）			①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）						
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ③ 上記(3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計(D) + (F)				後任補充状況の集計(E) + (G)					
辞任等した教員数		担当科目数の合計(a) + (b) + (c)		①の合計数(a)		②の合計数(b)		③の合計数(c)	
1	人	必修	9 科目	必修	9 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
		選択	8 科目	選択	8 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	17 科目	計	17 科目	計	0 科目	計	0 科目

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計(D)+(F)}}{(2) - ② \text{設置時の計画(A)}} = \frac{1}{12} = \boxed{8.33} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) - ⑤ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由			
		該当なし							
合計			後任補充状況の集計						
辞任した教員数		担当科目数の合計(a) + (b) + (c)		①の合計数(a)		②の合計数(b)		③の合計数(c)	
0	人	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
		選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

- (注) ・ **定年により退職した全ての専任教員**についてに記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、**赤字**にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および()書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」 ・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」 |
|---|

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

谷准教授の後任として高田琢弘助教が着任し、谷准教授が担当予定であったすべての科目を担当する。学生には、時間割等により周知する。(30)

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能なかぎり具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の の実施計画
認 可 時 (30年)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 時 (30年)	東海学園大学の既設学部等（人文学部人文学科）の入学定員超過の改善に努めること。	指摘事項 (改善)	入試の合格者決定にあたり、過去の入学手続きにおける実績数値をもとに、学内の関係機関で慎重に検討を行った上で発表したが、予想を上回る手続きの結果となり、定員超過率を高める事態となった。平成31年度（令和元年度）入試においては定員超過の状況を十分に踏まえ、入試の合格者決定にあたり、過去の実績や志願者の動向について精査した上で選考を行い、定員超過を是正した。

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を**全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」には、調査結果が公表された年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<心理学部 心理学科>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
該当なし	

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全学教育委員会 <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・月1回程度開催 <p>c 委員会の審議事項等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全学教育に関する事項 ・FD活動の実施計画 <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業評価アンケート ・教員相互の授業参観 ・FD研修会 <p>b 実施方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教員相互の授業参観：年1回実施 ・FD研修会：年1回実施（3月） <p>c 開催状況（教員の参加状況含む）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教員相互の授業参観：一部の講義で実施 ・FD・SD研修会「アクティブ・ラーニングを効果的に取り入れた授業設計」及びFD研修会「魅力ある授業づくりに向けて～第3回教育活動受彰者報告会～」のテーマでフォーラムを開催（平成30年度） <p>d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況</p> <p>授業評価アンケート・相互授業参観では、学生の意見を得るとともに、教員は授業改善報告書を作成し教員同士の意見交換を活発に行い、授業改善へつなげている。</p> <p>③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況</p> <p>a 実施の有無及び実施時期</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年1回実施（令和元年度は春学期に実施予定） <p>b 教員や学生への公開状況、方法等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教員には全体の平均値及び担当科目ごとの集計結果を配付、学生には学内機関紙にて学部ごとの集計結果を公開している。また、教員（専任および非常勤）・学生・保護者から申請があった際には、学内（図書館および教務課）にて閲覧が可能。
--

(注) ・ 「① a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見
(別紙のとおり)

② 自己点検・評価報告書

a 公表(予定)時期

- ・平成29年3月 自己評価報告書を本学ホームページ上で公表
- ・平成29年6月 自己評価報告書を刊行

b 公表方法

- ・自己点検・評価報告書を刊行し、理事会・評議員・教育後援会役員・専任教職員等に配布。
- ・日本高等教育評価機構による認証評価結果および自己評価報告書を本学ホームページ上で公表。

③ 認証評価を受ける計画

- ・平成28年度に日本高等教育評価機構による認証評価を受審し、平成29年3月7日付で、「日本高等教育評価機構が定める大学評価基準に適合している。」と認定された。
認定期間は、平成29年4月1日から令和6年3月31日までの7年間。
次回は令和5年度に受審予定。

(注) ・ 設置時の計画の変更(又は未実施)の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書(令和元年度)

a ホームページへの公表予定の有無 (有 ・ 無)

b 公表有の場合の公表(予定)時期 (令和元年 6 月 1 日)

b 公表無の場合の特段の理由 ()

(注) ・ 今後公表する予定の場合は、「有」にマルを記入してください。今後も公表する予定がない場合は、「無」にマルを記入してください。